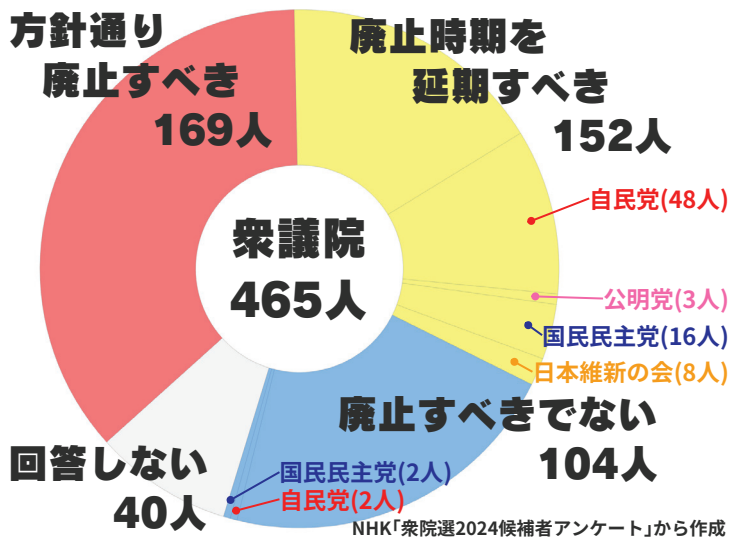
全国保険医新聞
11月15日
2024年
発行所／発行人
全国保険医団体連合会
〒151-0053
東京都渋谷区
代々木2-5-5
新宿農協会館内
☎ 03-3375-5121
FAX 03-3375-1885
会長 竹田 智雄
振替口座 00160-0-140346
購読料 〒共1カ月750円
（会員の購読料は、会費に含まれています）

総選挙

当選者の過半数「保険証は今のまま」

55.1％「廃止すべきでない」「廃止延期すべき」

第50回衆院総選挙は10月27日、投開票され与党過半数割れとなった。選挙にあたりNHKが候補者アンケートを行い、「マイナ保険証で保険証廃止の是非」を問うていた。衆議院465人中、「廃止すべきでない」「廃止時期を延期すべき」と答えた当選者は256人により議席比率は55・1％となった。政府は、12月の保険証廃止の方針を見直すべきだ。



10月27日に投開票された第50回衆院選では、自民党と公明党の与党は公示前の279議席を大幅に減らし215議席と、過半数（233議席）を割り込んだ。対して、立憲民主党は98議席から148議席と大幅に増やしたほか、国民民主党は7議席から28議席に、れいわは3議席から9議席にそれぞれ議席を増やした。共産党は10議席から8議席に減らした。

NHKは、立候補者に、政治とカネの問題や経済政策など、さまざまなテーマについてアンケートを実施。社会保障の分野で、「マイナ保険証で保険証廃止の是非について、マイナンバーカードと保険証の一体化にともない、いまの健康保険証を12月に廃止する政府の方針についてどう考えますか」と聞いた。

当選者465人中、「廃止時期を延期すべき」と答えたのは152人、「廃止すべきでない」と答えたのは104人、合わせて過半数を超え256人（55・1％）に上った。

昨年の保険証廃止法案に「賛成」した政党でも今回のアンケートで「廃止時期を延期すべき」と答えた議員は、自民（48人）、公明（3人）、国民（16人）、維新（8人）の計75人に上った。さらに自民（2人）、国民（2人）の計4人が「廃止すべきでない」と答えた。

「保険証を残す」ことを公約にした政党全体でみれば、公示前112議席から167議席と大幅に議席を増やし、得票数は2153万票と自公の2054万票を超える。

協会・医会の活動が争点化に寄与

協会・医会、保団連は、与野党問わず、患者・国民、医師・歯科医師の要求実現に尽力する国会議員を一人でも増やそうと努力してきた。総選挙にあたり実施したマイナ保険証トラブル調査第4弾の結果の発表や、議員・政党アンケートなどに取り組み、「保険証を残す」ことの争点化に結び付けてきた。

今回の選挙結果は、「保険証を残せ」運動で示された協会・医会、保団連の存在感、運動の力量・熱意が与野党、所属政党・会派をこえて、多くの国会議員を動かすことができる条件が整った。

野党第一党の立憲民主党野田代表は、開票作業が進む中、今後、優先したい政策として「現行保険証の存続」を挙げた。

政府は、当選議員がアンケートで回答した「公約」実現のため、12月2日の保険証廃止の方針を見直すべきだ。

協会けんぽでも「解除」受付開始

250超自治体で既に案内も

全国で約4000万人が加入する協会けんぽは、マイナ保険証の利用登録解除の受付を開始した。

12月2日の健康保険証新規発行停止以降は、マイナ保険証を持たない（利用登録をしていない）人に「資格確認書」が当面、職権交付される。マイナ保険証として既に登録していても、解除申請をすることで「資格確認書」の発行の対象となる。

解除申請はまず「協会けんぽマイナンバー専用ダイヤル」0570－015－369に電話し、専用の解除申請書を取り寄せる。必要事項を記入し、本人確認書類のコピーを添付のうえ、所属の都道府県支部に送付する。解除は協会けんぽが受付後、約1カ月程度で完了する。解除が完了したことは、マイナポータルで確認できる。

自治体国保では、現在までに250を超える自治体で既に受付を案内している。保団連ホームページでは、自治体の案内リンクを一覧で掲載している。

マイナ保険証利用登録解除 保団連HP

待合室に掲示するなどご活用ください ≫ 4～5面へ

新年特集号投稿募集

【応募要項】
- テーマは自由。エッセイ、俳句、川柳、詩、写真などを歓迎します
- 投稿は1点のみ（写真と原稿を組み合わせたものはご遠慮ください）
- 原稿字数は600字、写真は4切りサイズまで
- 締め切り：12月2日（月）必着

【応募先】
- 住所、氏名、年齢、メールアドレス、ファクス番号（著者校正用）、電話番号をお書き添えの上、下記の宛先までお送りください

Eメール：shinbun-toko@doc-net.or.jp
ファクス：03-3375-1885
郵送：〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-5
※原稿・写真の返却はいたしません

主な記事

マイナ保険証利用率 2
厚労省は、国家公務員のマイナ保険証利用率を公表した。13.58％は国民全体の利用率より低い
2 高齢化社会の医療需要の多様化への対応
勤務医コラム103
6 回計、回管、回口衛の新設
歯科改定解説⑧
6 歯科医療費総枠拡大で技工問題解決を
日技・森野会長と懇談
7 希望する全ての人に届け
ワクチンパレード2024
7 日本被団協のノーベル平和賞受賞に
保団連会長声明
8 年内の協定締結 再届出をお忘れなく
外来感染対策向上加算
8 入選句発表
医療研究フォーラム

フォローして最新情報をキャッチ
https://hodanren.doc-net.or.jp/

羅針盤

総選挙の結果、問答無用政治の鉄壁が崩れた。自公与党の過半数割れである。裏金問題や裏公認問題が国民の怒りを招いての結果だが、マイナ保険証の強引な普及で政府への不信が広がったことも影響したのではないか。「保険証存続」を政策に掲げる政党が大いに伸びた▼マスコミの影響も大きい。テレビ朝日は直前のモーニングショーでマイナ保険証トラブル問題を30分に凝縮してよく伝えてくれた。保団連調査を元ネタに「トラブル・不具合多発」を訴え、このまま保険証廃止が強行されたら大混乱、まずは現行保険証を残しつつ、マイナカードの利用を緩やかに進めるのが最善の策と述べていた▼コメンテーターの玉川徹氏が雄弁に語ってくれた。石破内閣を「手のひら返し」と銘打って、選挙前の各党の方針まで紹介してくれた▼そもそもこの問題は河野太郎前デジタル相がただ単に強引過ぎたというだけではない。医療DXの背景には医療費圧縮を狙う政府財界の黒い意図が見え隠れする。監視社会につながるマイナカードそのものの問題点もあり。われわれはこの辺も宣伝強化しつつさらに走り続ける必要がある。（SKY）